

平成24年度・自主研究会等の活動報告書

研究会等の名称	「長寿企業の事業展開に関する調査研究」
代表者	吉松研一
参加者	藤田義範、川野恭輔、大友清貴、首藤 毅、池邊博史
研究会等活動の目的	大分県内における長寿企業の動向を把握し、その事業を動かしている経営ノウハウ、経営資源、人材等について実地に調査研究を進め、事業継続の知恵を探る。
活動の記録	平成24年9月15日 大分大学と大銀経済研究所が行った調査報告書の調査と今年度の調査研究事業の進め方について協議 平成24年12月8日 高橋水月堂の実地調査 平成25年2月2日 ユワキヤ醤油、藤野屋商店の実地調査
研究会(調査研究事業)の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大分大学と大銀経済研究所が行った調査報告書から、大分県内における長寿企業の動向と、その事業経営に観られる特徴や課題等を理解した。</li> <li>・県内の長寿企業3社を実地に訪問し、経営者にインタビューすることを通じて、長寿企業の事業や経営の実状を調査した。3社とも堅実且つ前向きな経営姿勢を採っていた。具体的には、それぞれ百年を越す業歴のなか、外部環境の変化に追従して伝統と革新のバランスに気を配っていること、親子間、世代間、家庭内で価値観や文化を継承しようと努めていることが感じられた。また、いずれの経営者も元気且つ前向きで、自分の言葉で自信を持って語る姿が印象深かった。</li> <li>・詳細は、調査研究事業報告書(別紙)を参照されたい。</li> </ul>
研究会(調査研究事業)の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿企業3社の実地調査をしたが、長寿を実現した理由や一般の中小企業にとって参考としたいポイントについての考察がまだ充分とはいえない。より多くの視察の機会があればと考えている。可能ならば、次年度も引き続き調査研究事業を継続したいと考えている。</li> <li>・参加者はそれぞれに業務が多忙のなか、視察先の経営者の日程も合わせねばならないため、活動日程の調整が大変だった。</li> </ul>
中小企業経営者へのメッセージ	中小企業の経営者は、小なりとはいえ一国一城の主であり、自らの事業の有り様、企業経営の仕方について、自分の言葉で語らねばなりません。そのためは、自ら顧客や市場、取引先、地域社会、従業員、家族等と、それぞれ真正面から向かい合い、逃げたり後ろ向きにならずに、彼らの言葉や声なき声まで聴くことができるかが問われます。